



* 地域と共に知恵と勇気を育む *

長野県蓼科高等学校

〒384-2305

長野県北佐久郡立科町大字芦田3652

凛 とした空気の中、行われた後期生徒総会。

各委員会報告、会計報告、そして新執行部への引継ぎ。実績に裏打ちされた3年生の貫禄ある演説とそれに応えて意気込みを語る新執行部。どちらも堂々と自分の言葉で話し、質疑応答もあり全校の姿勢も立派で終始が引き締まった雰囲気の中で生徒総会でした。伝統を新たに、生徒会の歴史の1コマに立ち会えた思いがしました。



▲新旧執行部引継ぎ生徒総会の様子

前生徒会長から新執行部へ～激励メッセージ～

新執行部の皆さん、旧執行部がコロナのため延期となり今年成し遂げられなかった「蓼科高校創立120周年記念」の企画を皆さんの力で、どうか僕たちの分まで成し遂げてください。そして、この蓼科高校を更により良い学校にできるよう頑張ってください。旧執行部一同、心から応援しています。

前生徒会長 田村 海都



▲思いを語る田村前生徒会長

2学年・平和講演会

2学年では、10月21日に平和講演会を行いました。中止になってしまった沖縄修学旅行で講演を予定していた吉川由希先生にオンラインでお話し頂きました。講演は沖縄戦の歴史や米軍基地の辺野古移転に関わる内容で、分かりやすくとても良い学びの機会になりました。沖縄戦の話では、実際にその場にいた人の体験談の朗読があり、その強烈な出来事に、みんな聞き入りました。また米軍基地の話では、その広さや移転の経緯を立科町や長野県と比較して地図で示して下さい、沖縄に暮らす人々の気持ちを想像することができました。

現地で聞くことができず残念でしたが、各教室電子黒板の吉川先生とのやりとりに、「すごい、沖縄とつながってる!」と感動を味わうことができました。これからニュースなどで沖縄の話に触れる時には、ぜひ今回の講演会の事を思い出してほしいと思います。



1学年・CAPなかの～ワークショップで～

10月20、22日に相談力向上事業としてCAPの講師3名が来校。1年生を対象に人間関係のロールプレイを通じて、互いに学ぶ時間を持ちました。自分なりに表現し自分事として捉えて真剣に取り組みました。お互いの存在を大切に思い、困りごとを相談しSOSを表明し繋がる大切さを学びました。

体験入学(10月27日)に150名来校

中学生105名、保護者・学校関係者45名をお迎えした今年の体験入学。当初予定していた第1回体験入学(6月)が新型コロナの影響で中止となり、感染予防対策をとり、例年に比べ短時間での開催になりました。また、当日行事や都合により欠席した生徒保護者を対象に別日で体験説明会を開催しました。参加者の感想(一部)を紹介します。

- 先生たちがフレンドリーで楽しかった。先生方がいつでも近くにいる、スムーズに実験ができて嬉しかった(理科)
- ギターは初めてで弾き方も全く知らなかったが、先生が優しく丁寧に教えてくださり、とてもうれしかった(音楽)
- 他の中学校の人ともコミュニケーションをとれる時間があって、違う中学校の人とも仲良くできてよかった(体育)
- しおり作りがとても楽しくて、甲骨文字に興味が出た。これからは調べてみたい。書道を受けて良かった(書道)
- 古典を学んだ。最初はとても緊張していたが、楽しい国語ができた。(国語)
- 福祉のことについてあまりよく分かっていなかったけど、体験授業で少しだけ分かることができ、良かった(福祉)
- 貿易ゲームをやって初めて会った人ともしっかりコミュニケーションを取って協力してできたので楽しかった(社会)
- とても分かりやすく、高校のことが良く分かってよかった(学校説明)
- 生徒会行事や部活動のことについて、高校生の話を聞くことができ、とてもよく分かった(生徒会説明)
- 今まで蓼科高校について名前だけでその他のことは知らないことが多かったが、実際に来て見て体験することで今までより多くのことを知ることができたので良かった(全体)